

Contents

1) 健康心理学コラム vol. 73 境 泉洋 (宮崎大学)

1) 健康心理学コラム Vol. 73

「ひきこもりと健康心理学の接点」

境 泉洋 (宮崎大学)

筆者の専門はひきこもりに関する臨床心理学的研究である。近年、ひきこもりの高年齢化が取り沙汰されており、特に40代を超えるひきこもりへの支援が喫緊の課題となっている。ひきこもりの現状は、8050問題と言われ、50代の子どもを80代の親が養うという福祉現場でしばしば遭遇する現象とも重なってくる。

ひきこもりの現状からは、筆者の研究が健康心理学とはかけ離れた領域であるように思われるだろう。しかし、ひきこもりの予防という観点からは、健康心理学と密接に関連した領域である。ひきこもりの好発期の始まりは、中学1年であり、不登校の好発期の始まりとはほぼ一致する。ひきこもりを予防するには、中学1年から急増する不登校を予防することが効果的なのである。

筆者は、2018年から教育学部に籍を移し、教員養成に従事するようになった。そうした中で、特に注目しているのが、小学校と中学校が合併した義務教育学校である。宮崎県では、人口減少が著しい地域で義務教育学校が設置されている。この義務教育学校では、9年間の一貫教育が行われており、この期間に心理教育を体系的に組み込むことで、中学1年からの不登校の急増に象徴されるような中1ギャップを和らげることができるのではないかと考えている。現在、この仮説を検証するため、試験的に小学5年から中学2年生を対象とした介入研究を行っている。

こうした新たな教育システムと研究を連動させ、ひきこもりを生まない社会づくりに貢献していきたいと考えている。

-----  
日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <[jahp-post@bunken.co.jp](mailto:jahp-post@bunken.co.jp)>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <[jahp-ML@bunken.co.jp](mailto:jahp-ML@bunken.co.jp)>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>